

九州横断自動車道延岡線(蘇陽そよう～高千穂たかちほ)
第1回 説明資料

平成25年10月11日

国土交通省 九州地方整備局

目 次

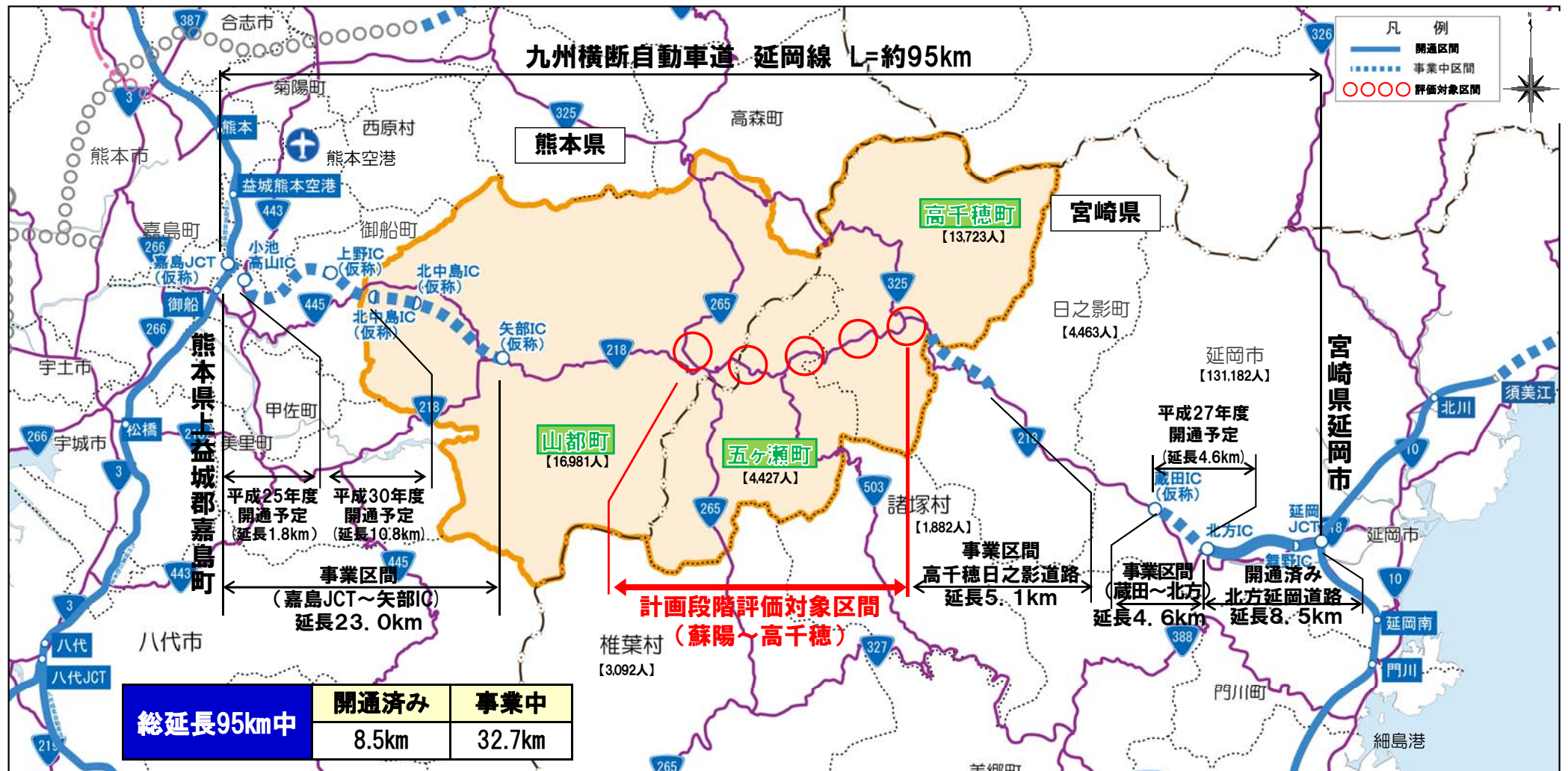
1. 評価対象区間
2. 計画段階評価手続きの進め方(案)
3. 地域の現状と課題
4. 道路・交通の現状と課題
5. 政策目標の設定
6. 意見聴取方法について



1. 評価対象区間

1. 評価対象区間

- 当該区間は、九州横断軸の一部を担う九州横断自動車道延岡線の一部。
- 沿線の熊本県山都町、宮崎県五ヶ瀬町、高千穂町は九州の中央に位置し、県庁所在地の熊本市まで約60km、宮崎県北の拠点都市延岡市まで50kmに位置する。



▲路線位置図

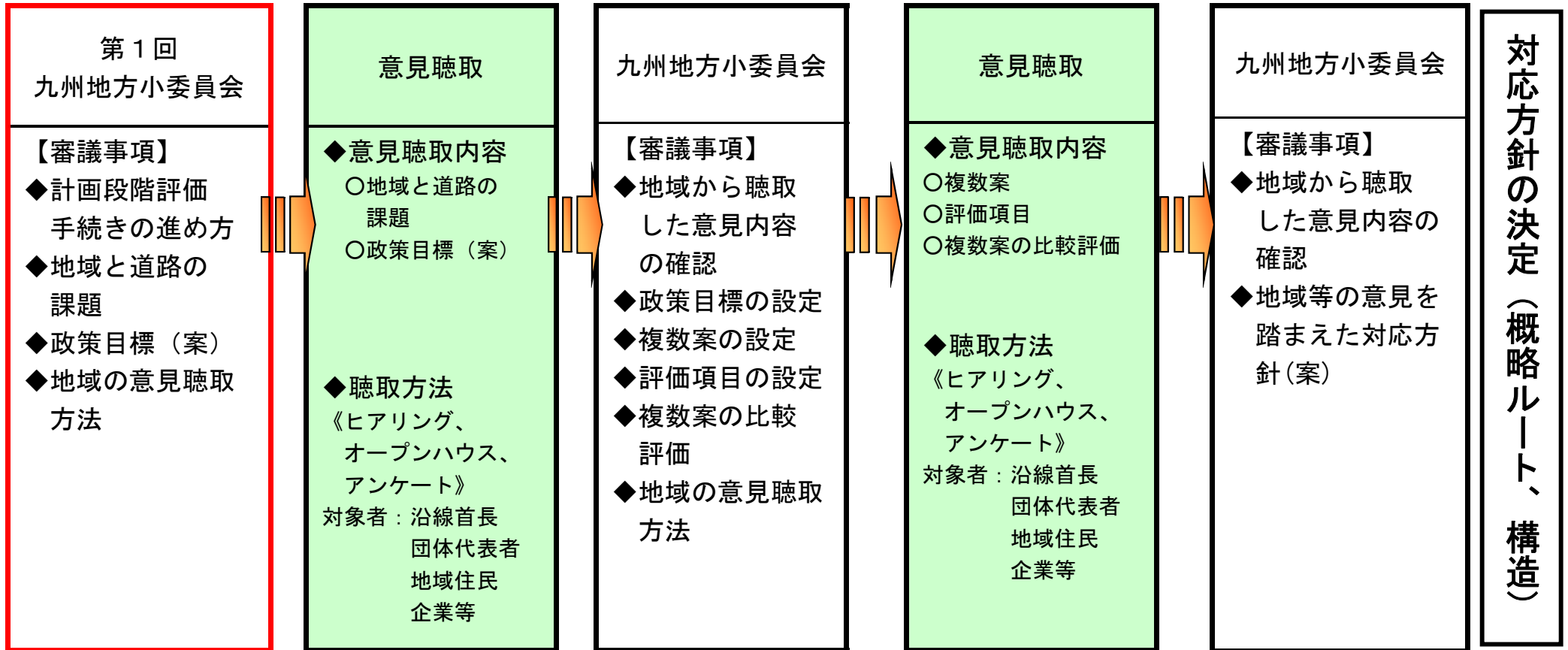
(資料/人口: H22年国勢調査)



2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

【平成25年10月】



地 方 小 委 員 会

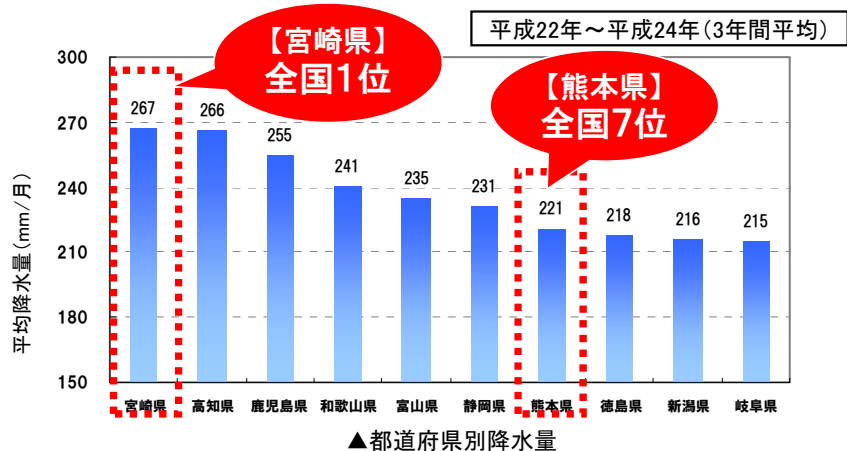


3. 地域の現状と課題

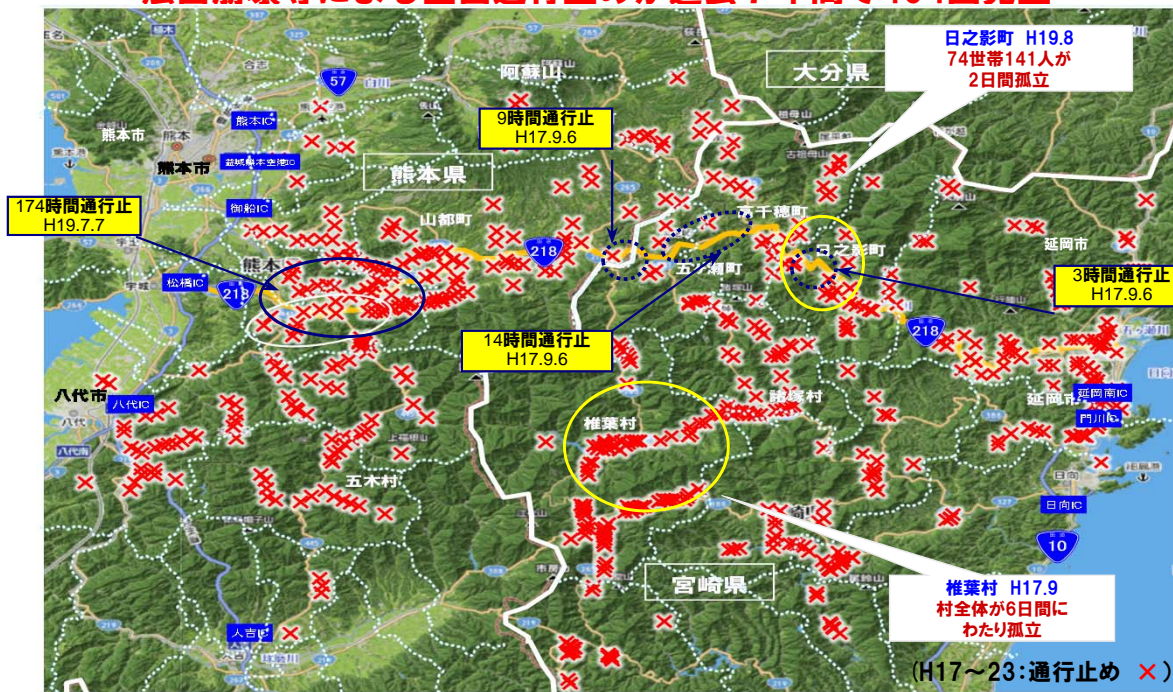
3. 地域の現状と課題<防災①>

- 九州中央地域は降水量が非常に多い地域であるとともに、豪雨等で山の斜面が深い地下の岩盤から崩れる「深層崩壊」発生の危険性が高い地域。
- 道路の全面通行止めも頻発しており、平成17年の台風や平成19年の災害により、孤立地域が発生。

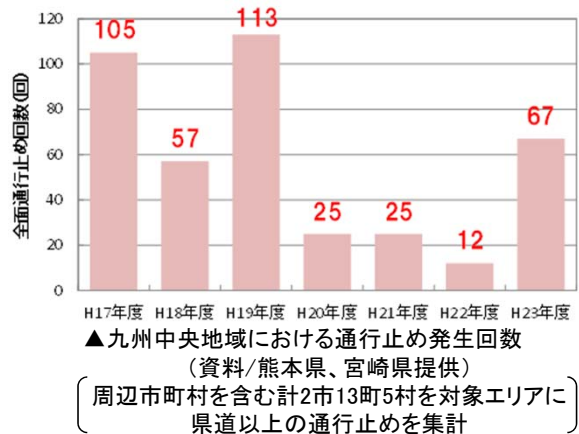
降水量が非常に多く、宮崎は全国1位、熊本は全国7位



法面崩壊等による全面通行止めが過去7年間で404回発生



H19年度には、113回の全線通行止めが発生



▲旧蘇陽町大野(現山都町)
法面崩壊(H17.9)

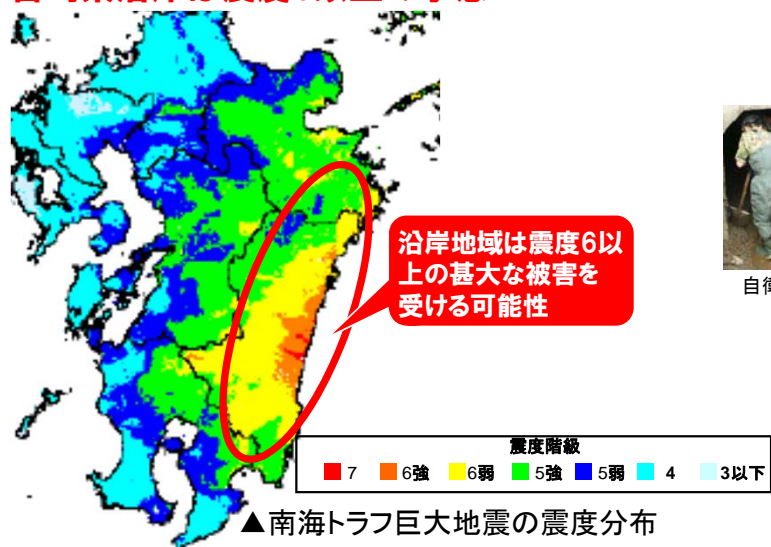


▲西臼杵郡日之影町
斜面崩壊(H17.9)

3. 地域の現状と課題<防災②>

- 宮崎県沿岸地域は南海トラフ巨大地震等により甚大な被害を受ける可能性がある。
- 横断軸となる国道本数は少なく、救援ルートは限られている。
- 近年も災害により通行止めが発生するなど、道路ネットワークとして脆弱である。

南海トラフ巨大地震では
宮崎県沿岸は震度6以上の予想



	災害の内容	
大分自動車道	濃霧による通行止の多発。年間240時間以上。	
国道210号	H24.7被災 (12h全面通行止め)	
国道57号	H24.7 滝室坂被災。40日間の全面通行止。	
国道218号	H17.9 台風14号による被災。	
国道219号	H24.7被災。	
国道268号	H18.7被災。	
宮崎自動車道	新嘉岳での通行止 H23.1.7~全面通行止 ⇒H24.8.10解除(581日間)	

▲横断軸の主な災害等の内容

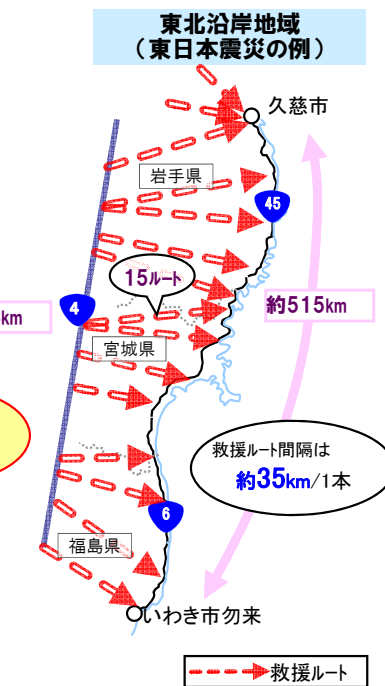
九州の東側には、陸上自衛隊駐屯地がなく、九州を横断する緊急輸送路は限られている。



▲横断軸の緊急輸送路の指定状況と災害履歴

※図示したルートは、国道3号と国道10号をつなぐ第一次緊急輸送路 (県庁所在地、地方中心都市及び重要港湾、空港等を連絡する道路)

沿岸部への救援ルートは密度が薄い



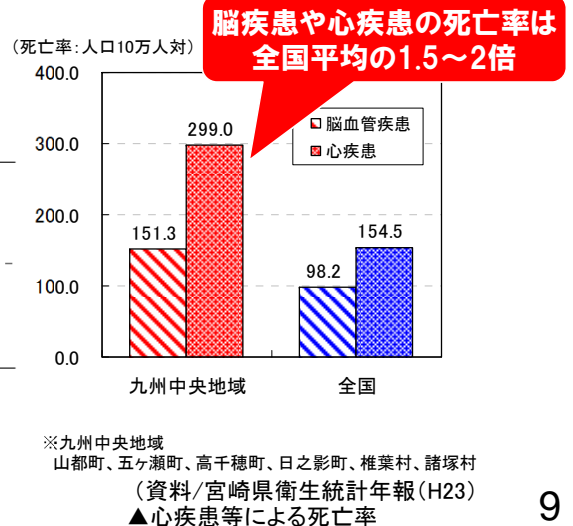
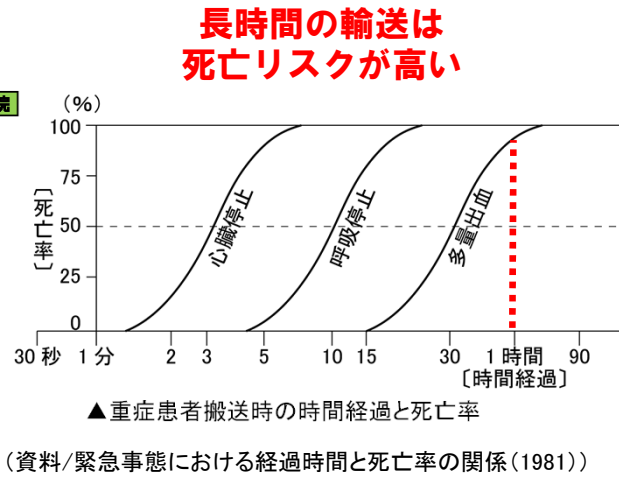
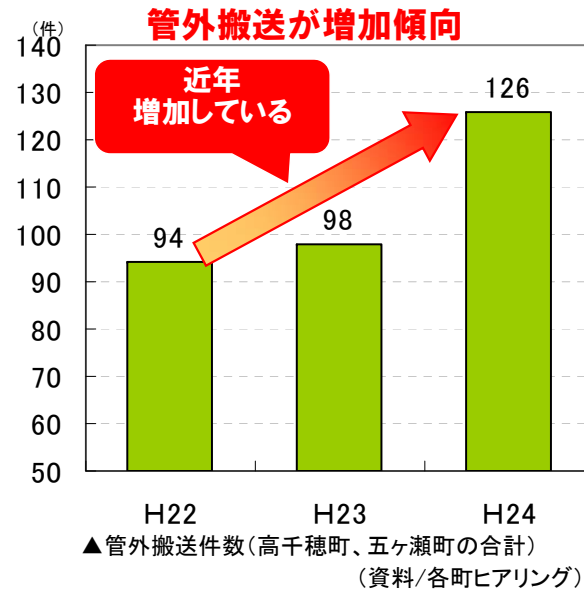
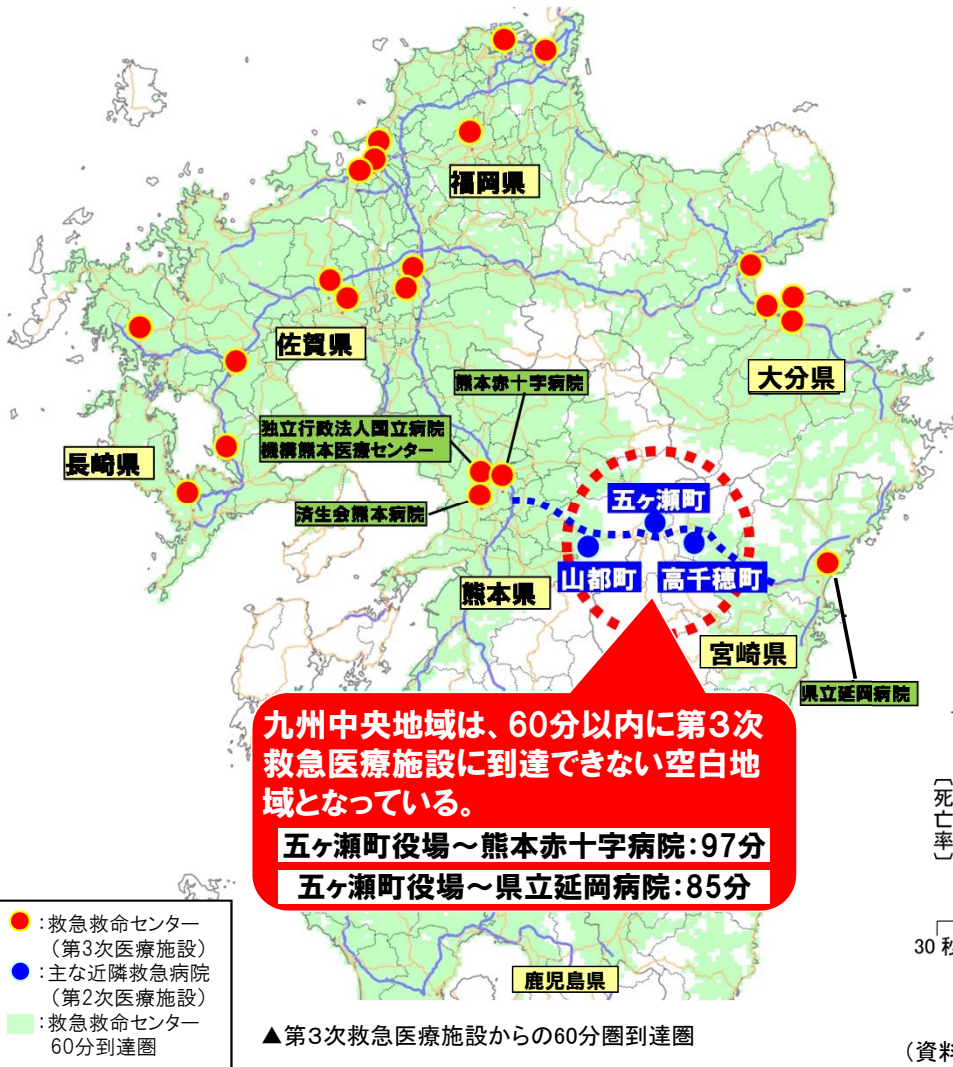
▲救援ルートの密度

※「くしの歯作戦」で公表されたルートを基に算出

3. 地域の現状と課題 < 救急医療の支援 >

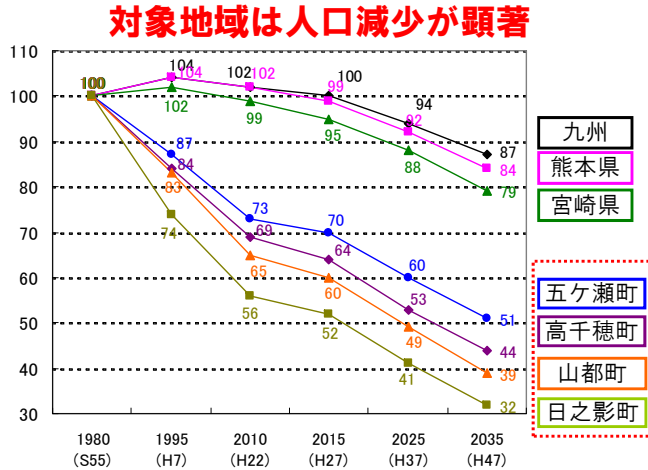
- 九州中央地域の多くは、60分以内に第3次救急医療施設に到達できない空白地域。
- 管外搬送も増加傾向にあり、脳疾患や心疾患の死亡率は全国平均の1.5~2倍。
- 国道218号には急カーブ、急勾配の区間が多数存在し、患者への負担が大きい。

九州中央地域は、第3次救急医療施設への60分圏外



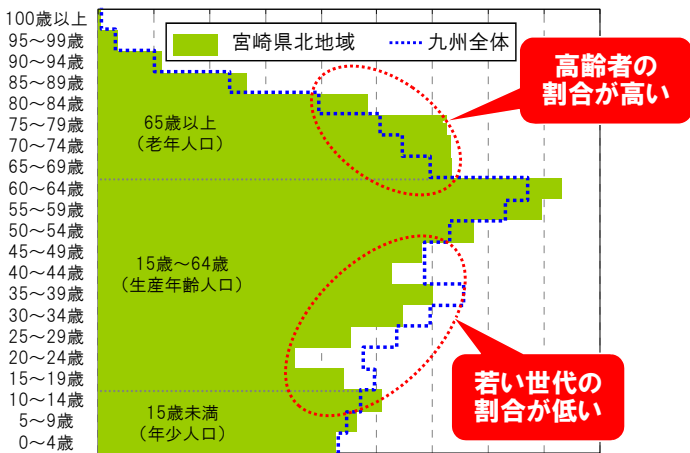
3. 地域の現状と課題 < 雇用・定住(定住促進) >

- 宮崎県北地域は、人口減少が進行しており、高齢者の割合が高く、活性化が課題。
- 延岡市を中心とした『定住』『自立』による圏域全体の活性化に取り組んでいる。



▲総人口の推移(1980年を100とした場合)
資料:【実績値】国勢調査 【予測値】国立社会保障・人口問題研究所

**九州全体に比べ、
高齢化が進行し、若い世代が少ない**



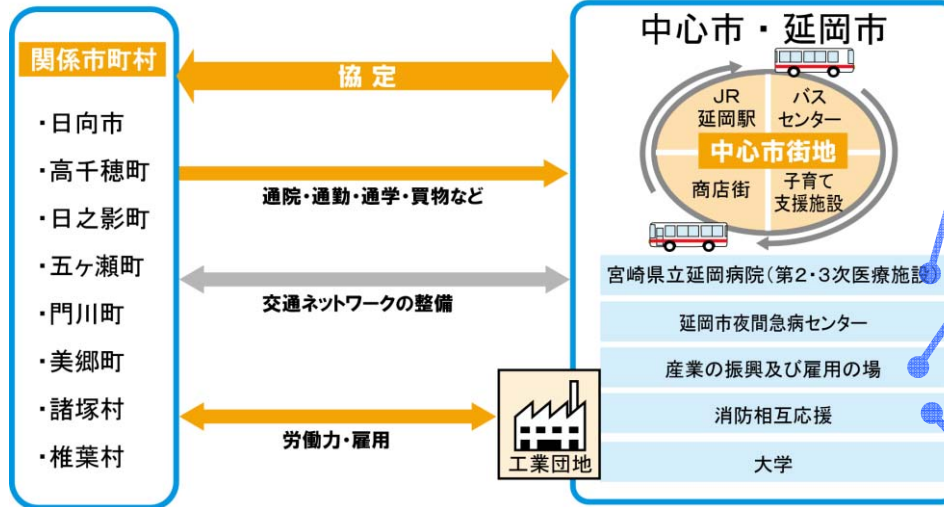
▲宮崎県北地域の人口ピラミッド

※宮崎県北地域...延岡市、日向市、西臼杵郡、東臼杵郡 (資料/H22 国勢調査)

定住・自立に向け、延岡市を中心とした各種取り組みが実施されている

宮崎県北定住自立圏共生ビジョン(H22.5)

- 目指すべき将来像
圏域全体が活性化し、人々が安心して暮らすことができる定住自立圏
- 取り組みの内容
 - ・生活機能の強化: 保険・医療・福祉の充実等
 - ・結びつきネットワークの強化: 人流・物流の根幹を成す高速交通網や地域間を結ぶ道路網の整備等
 - ・圏域マネジメント能力強化: 圏域の次世代を担う人材育成



▲延岡市を中心とした定住自立圏

地域医療

圏域の医療体制の維持・充実を図るため、圏域の高次医療を担う拠点病院と地域医療機関との機能分担による**地域医療体制の構築を目指す**。

**工業団地の造成
及び企業誘致**

行政区域を超え、広大な良好な工業団地を整備し、**大型企業の誘致及び雇用の拡大を目指す**。**通勤圏内の定住人口や流入人口の増加が見込まれる。**

消防相互応援

大規模災害や特殊災害時の対応を迅速に行い、**住民に対し、安全・安心な環境を提供する。**

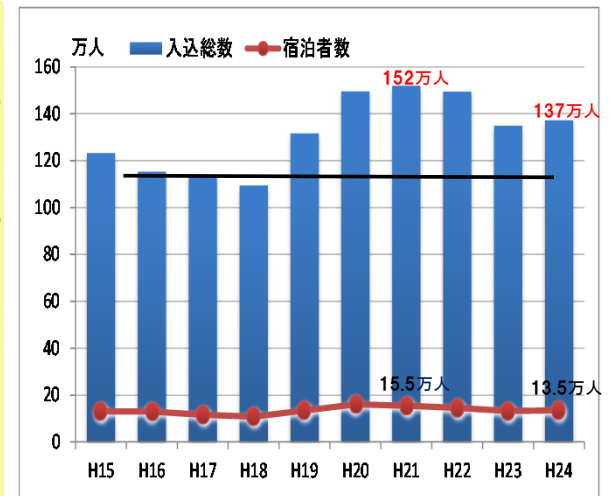
3. 地域の現状と課題〈観光振興〉

- 山都町や五ヶ瀬町では主要な交通軸から離れているため、歴史・文化等多彩な地域資源を活かした体験学習観光を展開し、地域一帯となった取組みを実施中。
- また、高千穂町周辺には、高千穂峡等の魅力ある観光資源が多数存在。
- 阿蘇くじゅう地域等との連携した滞在交流型観光地を目指している(「阿蘇くじゅう観光圏整備計画(H25.3)」)。
- 観光客の回遊性向上が課題である。

地域資源を生かした体験学習観光の取組みや
滞在交流型観光地を目指した取組みが進められている



高千穂町の観光入込客はピーク時は約150万人。宿泊者は1割程度。



▲高千穂町への入込客数

(資料:平成24年観光統計
(高千穂町企画観光課))

▲阿蘇くじゅう高千穂地域の広域周遊計画

資料:熊本県ホームページ

九州ハイランド活性化協議会

- 目的:地域特性を守り、育てていくことで、環境との共生を考えた新しい地域観光を推進し、地域の一体的な活性化を図る。
- 対象エリア:熊本県(美里町、山都町)、宮崎県(五ヶ瀬町、椎葉村)
- 取組み内容:受入体制整備、観光物産展の開催等

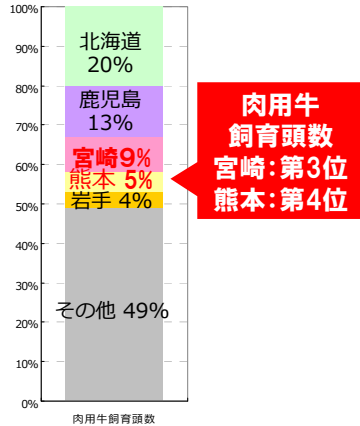
阿蘇くじゅう観光圏整備計画(H25.3)

- 目的:人材育成とネットワーク化を図り、地域の発展に寄与する
- 対象エリア:熊本県(阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村、山都町)、大分県(竹田市)、宮崎県(高千穂町)
- 取組み内容:観光客の回遊性を高め、滞在交流型観光への転換を目指す等

3. 地域の現状と課題<産業振興(畜産)>

○宮崎県、熊本県は全国有数の肉用牛の飼育数を誇り、五ヶ瀬町、高千穂町など沿線地域では農業算出額の約1/4を占めている。
 ○急カーブ・急勾配での輸送を強いられており、肉用牛の品質低下を招く要因となっている。

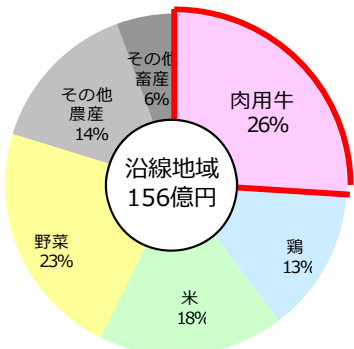
宮崎県、熊本県の肉用牛の飼育数は全国で上位



▲肉用牛飼育頭数 (資料: H24畜産統計)

沿線地域の肉用牛の生産シェアは高い

※宮崎県平均は肉用牛19%

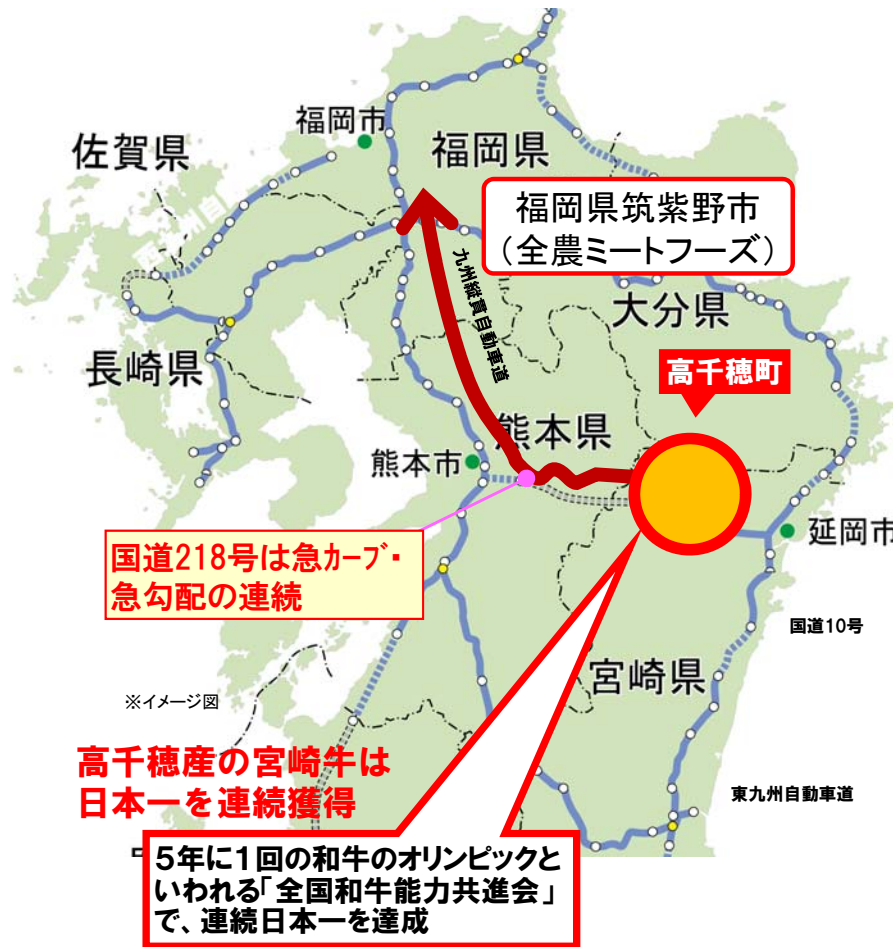


▲農業算出額の割合

※沿線地域: 山都町、五ヶ瀬町、高千穂町、日之影町、椎葉村、諸塚村

(資料: H18生産農業所得統計)

宮崎牛(高千穂産)の出荷は、急カーブ・急勾配の輸送を強いられ品質低下を招く



▲宮崎牛(成牛)の主な出荷先と搬送ルート

急カーブ、急勾配で品質ランクが低下

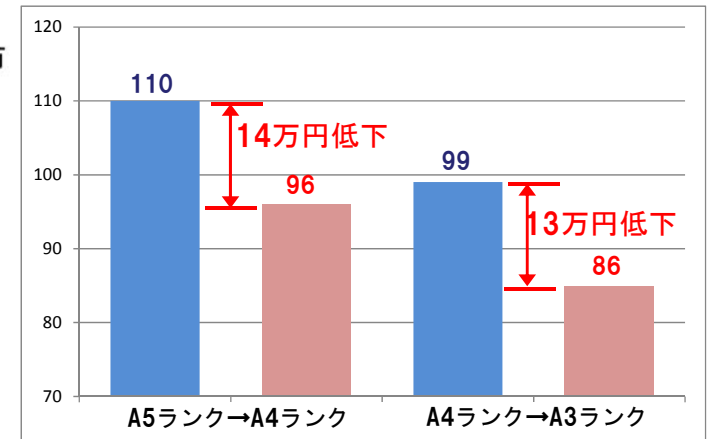


急カーブ・急勾配のストレス (万円)

肉に熱が蓄積(霜降り→赤身)

品質ランク1~2低下

(JA高千穂ヒアリングより)



▲宮崎牛(成牛)のセリ価格の低下(実績等を基に試算)

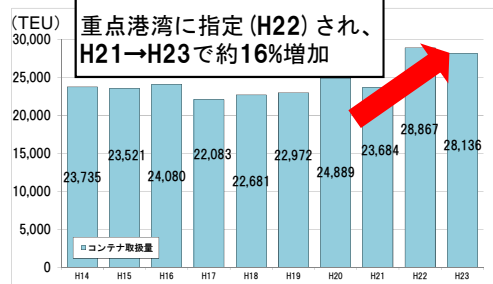
(資料: JA高千穂の取引実績)
 (資料: 農林水産省「畜産物生産費」「食肉流通統計」)

資料: 高千穂地区農業協同組合ヒアリング結果

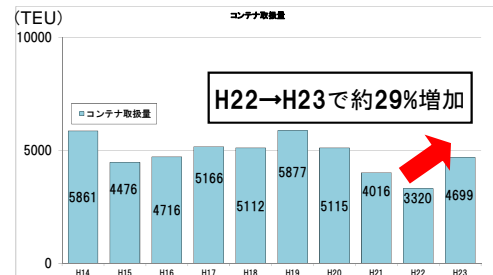
3. 地域の現状と課題 < 産業振興(物流活動) >

- 延岡線沿線の細島港は首都圏・中部圏・関西圏に位置的優位性を持ち、熊本港及び八代港は釜山航路を有する広域物流拠点である。
- 平成22年に細島港及び八代港は重点港湾に指定、平成25年3月には宮崎県内が「45フィートコンテナ物流特区」に指定。
- 増加するコンテナ貨物に対応するため細島港では、ガントリークレーンの増設などを進めており、平成26年度には国際物流ターミナルが完成する予定。
- 細島港、熊本港、八代港の背後圏流動の拡大が課題。

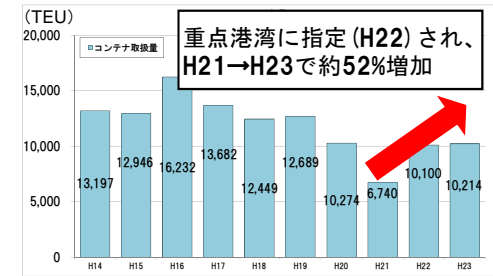
取扱貨物量は増加・回復傾向



▲重要港湾 細島港のコンテナ取扱貨物量の推移

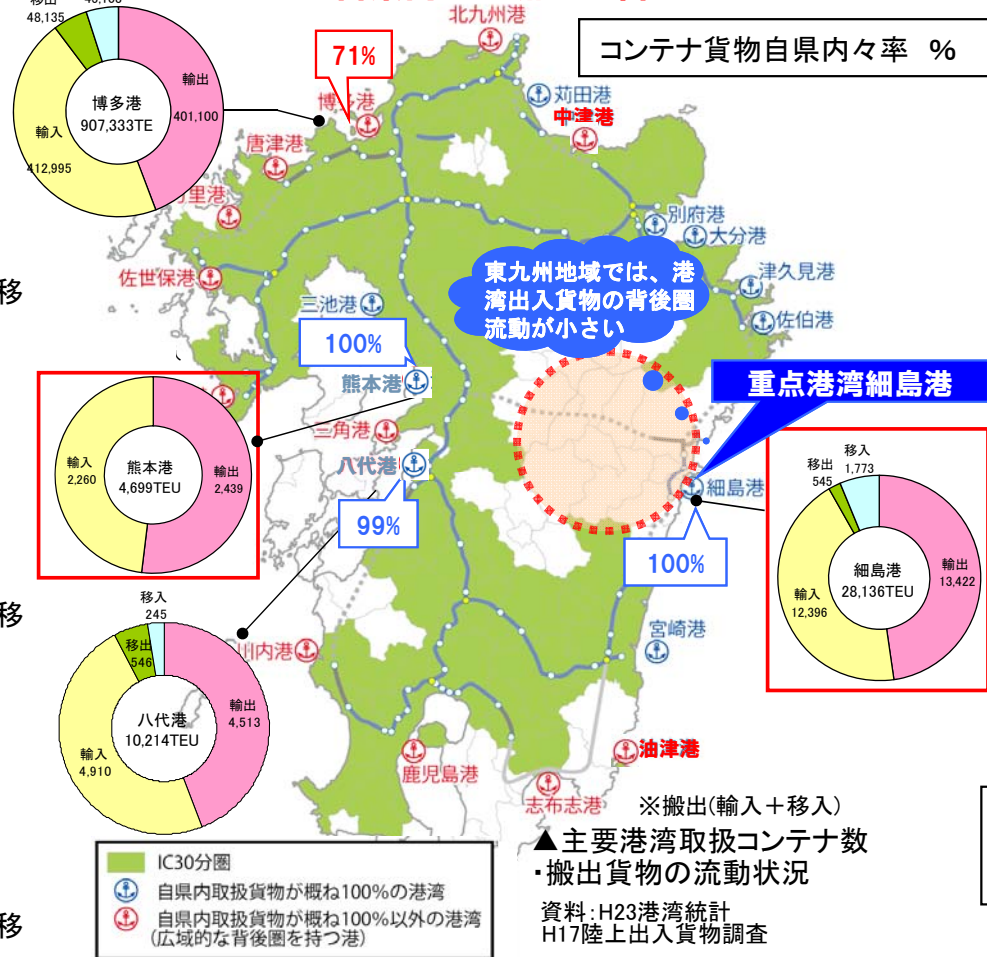


▲重要港湾 熊本港のコンテナ取扱貨物量の推移



▲重要港湾 八代港のコンテナ取扱貨物量の推移
出典：(社)日本港湾協会

細島港及び熊本港の取扱貨物は、ほとんどが自県内での流通に留まっている



細島港では2基目のガントリークレーンを設置



平成22年には、岸壁整備などに集中投資する「重点港湾」に指定され、東九州地域の物流拠点として機能を拡充させつつある。

九州唯一の「45フィートコンテナ物流特区」に指定



H25年3月に45フィートの国際海上コンテナを県全域で利用できる「宮崎45フィートコンテナ物流特区」に認定。

▲主要港湾取扱コンテナ数・搬出貨物の流動状況

資料：H23港湾統計
H17陸上出入貨物調査



4. 道路・交通の現状と課題

4. 道路・交通の現状と課題 < 都市間連絡速度 > 移動のサービスレベル

○現在事業中区間が整備後も、九州中央地域の主要都市間(熊本市～延岡市)の時間距離は他のネットワークと比べ差がある。

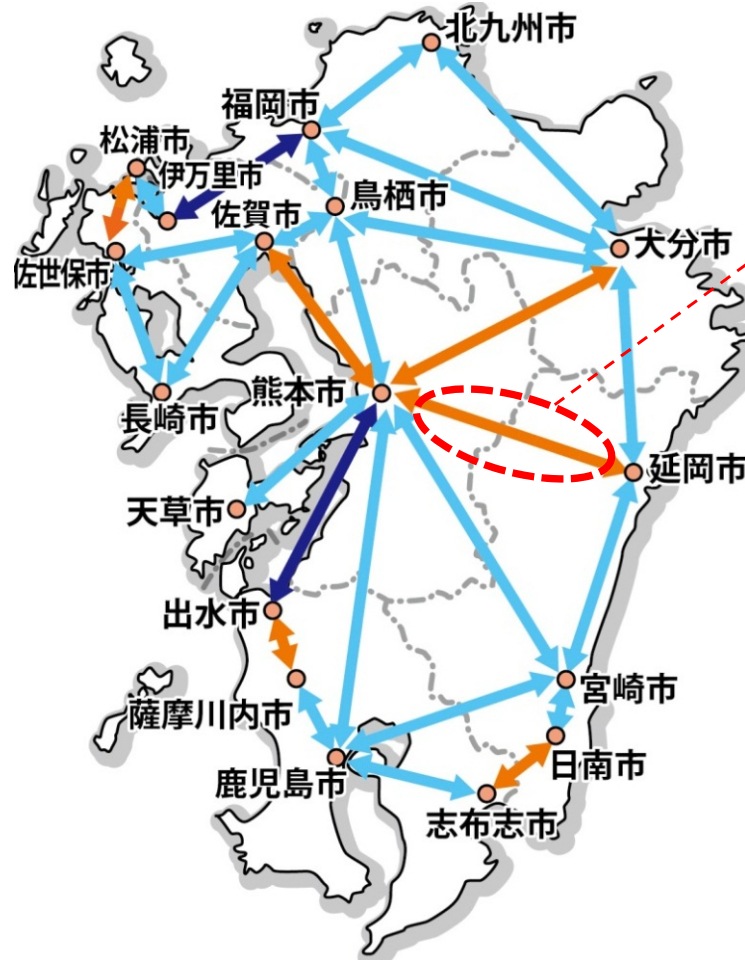
図①

現 状

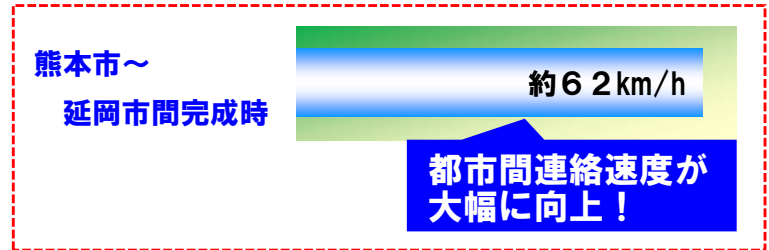
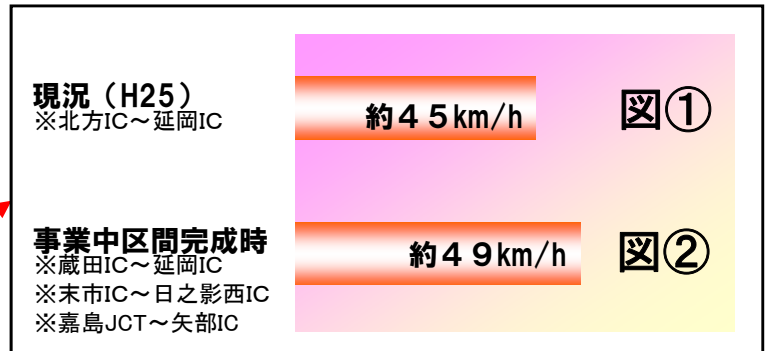


図②

事業中区間完成時



凡 例	
■	都市間連絡速度
↔ (Dark Blue)	80km/h 以上
↔ (Light Blue)	60~80km/h
↔ (Orange)	40~60km/h
↔ (Red)	40km/h 未満



▲延岡線整備による都市間連絡速度の変化

▲都市・地域間移動の都市間連絡速度

資料:「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ」

(H23.12)をもとに国土交通省九州地方整備局試算

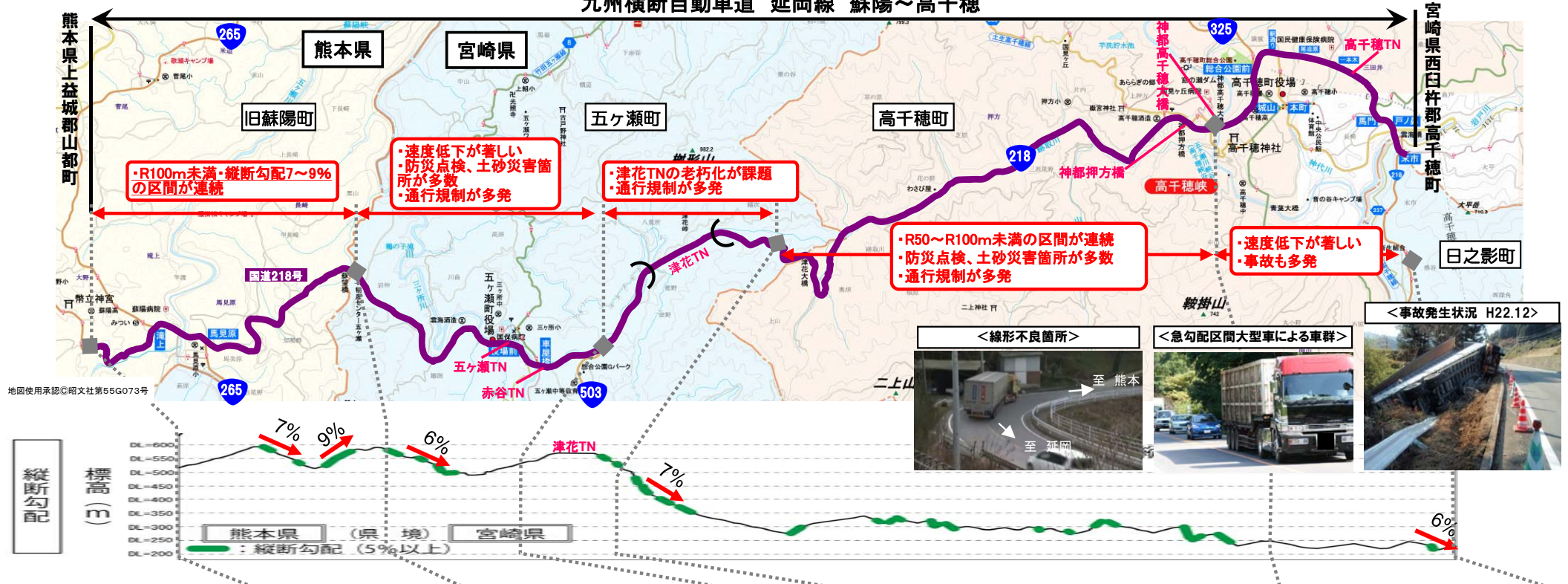
※都市間連絡速度:都市間の最短道路距離を最短所要時間で除したものの

※速度は、民間プローブデータ(H23.4～H24.2)による平均旅行速度及び事業中区間等の未整備区間については、設計速度を用いて連絡速度を算出。

4. 道路・交通の現状と課題<走行性>

- 国道218号は、九州山脈を横断しており、平面・縦断線形不良箇所が多数存在するため、走行性が悪い区間や速度低下区間が存在。
- 高千穂町では、市街地を通過するため、事故や渋滞が発生している。

九州横断自動車道 延岡線 蘇陽～高千穂



項目	概要	熊本県	宮崎県
線形不良箇所 曲線半径(m) R=150m未満	R150m未満が55箇所	R100m未満が連続	R100m以上150m未満 R100m未満が連続
速度勾配図 (km/h) ※H23民間70データ	上り 下り	約42km/h(旧蘇陽)	約22km/h(五ヶ瀬) 約33km/h 約21km/h(高千穂)
通行規制(回・時間) H20~H24		チェーン規制の多発区間 (6年間で通行規制が27回・規制時間が約800時間)	
死傷事故率(件/億台年) H18~H21	100件/億台キロ以上が14箇所	①~③	④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ 100件/億台キロ
交通量(台/日) H22		4,080	5,675 6,018 6,554

4. 道路・交通の現状と課題 <災害危険性>

- 防災点検要対策箇所や土砂災害危険区域などが多数存在。
- 6年間で27回のチェーン規制や急斜面の存在が課題。

チェーン規制回数27回 (約800時間) / 6年



▼災害状況 R218旧蘇陽町大野<H17.9>



▼冬期の積雪・凍結状況



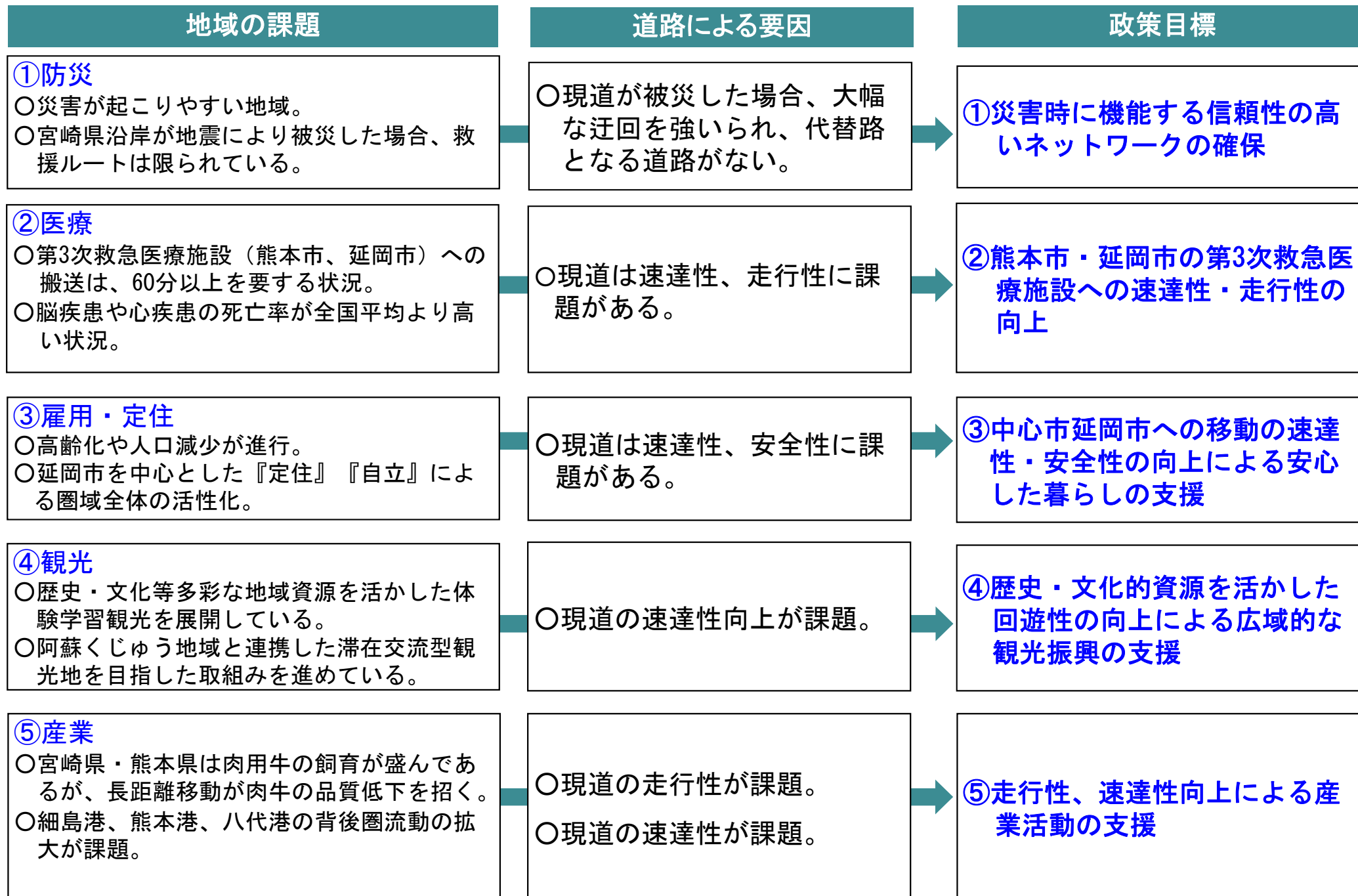
▼現地状況(防災点検要対策箇所)





5. 政策目標の設定

5. 政策目標の設定





6. 意見聴取方法について

6. 意見聴取方法について

1. 意見聴取の基本方針

課題・政策目標(案)と道路整備の必要性に対する意見を伺う。

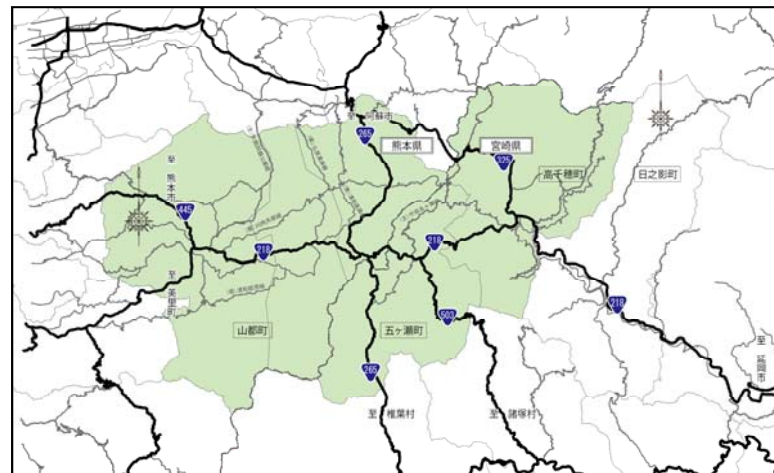
2. 意見聴取の方法と対象者

- ※1 ヒアリングは、地域の代表者及び企業等へ対面方式での意見聴取
- ※2 オープンハウスは、各自治体役場等での説明。対面での自由意見の聴取
オープンハウスの周知は町報などで広報
- ※3 アンケートは、地域住民にアンケート票を配布し意見聴取

3. 意見聴取の設問

- 地域の課題、道路・交通の課題について
- 政策目標について
- その他自由意見

■意見聴取範囲



対 象 者		
ヒアリング ※1	【沿線自治体及び団体代表者】熊本県・宮崎県・関係町・団体への意見聴取	
	沿線自治体：熊本県、宮崎県、山都町、五ヶ瀬町、高千穂町	5名
	各団体等：トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会議所・商工会、消防署、警察、農協、漁協、観光協会 等	25団体
	【企業等】熊本県・宮崎県・関係町の関係企業への意見聴取	
	各企業：製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉	主要100社
オープンハウス (ヒアリング) ※2	【地域住民】沿線の山都、五ヶ瀬、高千穂の町役場等にオープンハウスを設置	
	山都町	3箇所
	五ヶ瀬町	
高千穂町		
アンケート ※3	【地域住民】山都町の一部地区、五ヶ瀬、高千穂町	
	旧蘇陽町	全戸 1,500戸
	五ヶ瀬町	全戸 1,500戸
	高千穂町	全戸 5,000戸

6. 意見聴取方法について

◆アンケート調査(案)のイメージ

アンケートにお答え下さい（回答は返信はがきに記入して下さい）

■回答の提出方法

- ・回答は、次頁の「アンケート回答用 返信はがき」に記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。
 - ・この他に、市役所・町村役場などで配布されているアンケート用紙をご利用ください。
- 大切**
平成25年●月●●日までに投函いただきますよう、お願いいたします。

現在の国道218号の利用状況についてお聞きします

質問1 国道218号をどれくらいの頻度で利用しますか

あてはまる番号を1つ選び、該当する番号に○をつけてください。

1. ほぼ毎日 2. 週に2・3回程度 3. 月に2・3回程度 4. ほとんど利用しない

質問2 国道218号の主な利用目的は何ですか

あてはまる番号を1つ選び、該当する番号に○をつけてください。

1. 通勤・通学 2. 通院 3. 家事・買い物 4. 仕事（営業・運送等）
5. 観光・レジャー 6. その他

対象地域の課題と課題を解決するための道路の役割についてお聞きします

質問3 対象地域*が抱える課題とどのような役割を持つ道路が必要だと思いますか

日頃から感じている事、困っている事、道路整備に期待する事等、ご意見等がありましたら自由に記入願います。

例) 災害が多い。急カーブ、急勾配が多い。病院まで遠い。観光地まで遠い。
災害時の信頼性の高いネットワーク、病院までの速達性・走行性、広域的な観光支援

課題に関するご意見

*対象地域：熊本県山都町、宮崎県五ヶ瀬町、高千穂町の3町

自由意見

質問4 その他、道路整備の必要性や、今後道路整備に望まれる事などに関するご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい

郵便はがき

〒 8 8 2 0 8 0 3

宮崎県延岡市大貫町1丁目2889

九州横断自動車道 延岡線(蘇陽～高千穂)
計画段階評価 事務局 行

〒 5 8 1

〒 〇〇〇 宮崎支店

平成 年 月 日 (切手不要)

〒 〇〇〇 〇〇〇

下記にチェックおよびご記入をお願いします。

○すべての方

年齢	<input type="checkbox"/> 10代	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 40代	性別	<input type="checkbox"/> 男
	<input type="checkbox"/> 50代	<input type="checkbox"/> 60代	<input type="checkbox"/> 70代以上			<input type="checkbox"/> 女
職業	<input type="checkbox"/> 会社員	<input type="checkbox"/> 公務員	<input type="checkbox"/> パート・アルバイト			
	<input type="checkbox"/> 農業	<input type="checkbox"/> 自営業				
	<input type="checkbox"/> 主婦	<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> 無職	<input type="checkbox"/> その他		
住所	[] 県 [] 市・町					

該当する番号に○をつけて下さい

質問1: 国道218号をどれくらいの頻度で利用しますか

1. ほぼ毎日 2. 週に2・3回程度
3. 月に2・3回程度 4. ほとんど利用しない

質問2: 国道218号の主な利用目的は何ですか

1. 通勤・通学 2. 通院 3. 家事・買い物
4. 業務 5. 観光・レジャー 6. その他 ()

※お答えいただいた意見および個人情報は、本アンケート以外での使用することはいけません。
みなさまの貴重な意見のとらまめのために必要となりますので、記入漏れがないようお願いします。

アンケート回答用 返信はがき

該当する番号に○をつけて下さい。

質問3: 対象地域*が抱える課題とどのような役割を持つ道路が必要だと思いますか

日頃から感じているご意見等がありましたら自由に記入願います

※対象地域：熊本県山都町、宮崎県五ヶ瀬町、高千穂町の3町

質問4: その他、道路整備の必要性や、今後道路整備に望まれる事などに関するご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。

このアンケートへのお問い合わせ先

九州横断自動車道 延岡線(蘇陽～高千穂)
計画段階評価 事務局

国土交通省 九州地方整備局
■延岡河川国道事務所 調査第二課
TEL 0982-31-1263

■熊本河川国道事務所 調査第二課
TEL 096-382-1242